

【 沖縄県 】

「平成31年度県立高等学校入学者選抜学力検査試験問題 社会」より

問題

【4】 表1（新渡戸稲造の生涯）、図A・B（過去の首相経験者の文字がある碑）に関連して、次の各問いに答えよ。

表1

時代	年	新渡戸稲造の生涯のできごと
江戸	1862	<u>盛岡藩</u> （現在の岩手県盛岡市）で生まれる a
明治	1877	札幌農学校（現在の北海道大学）に2期生として入学。キリスト教に入信 b
	1884	アメリカ留学。後のアメリカ大統領 <u>ウィルソン</u> と同時期に同じ大学に在籍 c
	1887	帰国。札幌農学校の教師を経て、ドイツ留学
	1900	療養先のアメリカで英語にて『 <u>BUSHIDO（武士道）</u> 』を発表 d
	1901	<u>台湾総督府</u> に技師として赴任 e
大正	1920	国際連盟の事務次長としてジュネーブに赴任
	1922	知的協力国際委員会（UNESCOの前身）会議のために尽力
昭和	1926	国際連盟事務次長を退任。翌年の帰国後 <u>女子校の校長</u> を務める f
	1933	カナダでの太平洋会議に日本首席代表として出席後、アメリカで客死

問2 下線部bについて、近世から近代にかけての蝦夷地・北海道に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものを1つ選び、記号で答えよ。

ア 幕府はロシアの南下に備えるため、間宮林蔵らに蝦夷地などの調査を命じた。

イ 1875年の交換条約によって日本は、千島全域をロシア領とするかわりに、樺太を獲得した。

ウ 明治政府は旧土人保護法を定めたが、伝統的なアイヌ文化は次第に失われていった。

エ 北海道の行政と開発のために開拓使が置かれ、農業と防衛を担う屯田兵として、各地から移住する者もいた。

解答

【4】 問2：イ